

【てんかん発作の臨床的ならびに脳波学的分類の改訂案(I L A E 1 9 8 1)】

・部分(焦点、局所)発作

A . 単純部分発作(意識の減損はない)

- 1 . 運動徴候を呈するもの
 - (a) マーチしない焦点運動性
 - (b) マーチする焦点運動性(ジャクソン型)
 - (c) 回転性
 - (d) 姿勢性
 - (e) 声音性(発声あるいは発語停止)
- 2 . 身体感覚あるいは特殊感覚症状を呈するもの(単純幻覚、例えば、ヒリヒリ、ピカピカ、ブンブン)
 - (a) 身体感覚性
 - (b) 視覚性
 - (c) 聴覚性
 - (d) 嗅覚性
 - (e) 味覚性
 - (f) 眩暈性
- 3 . 自律神経症状あるいは徴候を呈するもの(上腹部感覚、蒼白、発汗、紅潮、立毛、瞳孔散大を含む)
- 4 . 精神症状(高次大脳機能の障害)を呈するもの(これらの症状はまれには意識減損を伴わずに起こることもあるが、多くは複雑部分発作として経験されることが多い。)
 - (a) 言語障害性
 - (b) 記憶障害性(例えば既視感)
 - (c) 認知性(例えば夢幻状態、時間感覚の変容)
 - (d) 感情性(例えば恐怖、怒り)
 - (e) 錯覚性(例えば巨視)
 - (f) 構成幻覚性(例えば音楽、光景)

B . 複雑部分発作(意識減損を伴う、時には単純症状をもって始まることもある)

- 1 . 単純部分性に起こり意識減損に移行するもの
 - (a) 単純部分性特徴(A 1 ~ A 4)で起こり意識減損に移行するもの
 - (b) 自動症を伴うもの
- 2 . 意識減損で始まるもの
 - (a) 意識減損のみをもつもの
 - (b) 自動症を伴うもの

C . 部分発作から二次的に全般発作に進展するもの

(全般強直-間代性のことも、強直性のことも、間代性のこともある)

・全般発作(けいれん性あるいは非けいれん性)

A . 1 . 欠神発作

- (a) 意識減損のみのももの
- (b) 軽い間代要素を伴うもの
- (c) 脱力要素を伴うもの
- (d) 強直要素を伴うもの
- (e) 自動症を伴うもの
- (f) 自律神経要素を伴うもの
- (b から f は単独でも組合せでもありうる)

2 . 非定型欠神

- (a) おそらく筋緊張の変化は A 1 に比べよりはっきりしている
- (b) 発作の起始および終末は急激ではない

B . ミオクロニー発作、ミオクロニーれん縮(単発あるいは連発)

C . 間代発作

D . 強直発作

E . 強直-間代発作

F . 脱力発作(失立)

(上記のもの、例えば B と F、 B と D の合併が起こりうる)

・未分類てんかん発作

・付記